

議会だより

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会 〒894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津23番地



瀬戸内町子ども会活性化 プロジェクト～田植え 体験in勝浦～

5月2日（日）、勝浦集落の堯 文俊さん所有の田んぼにて、堯さん指導のもと、子ども会による田植え体験を7年ぶりに開催した。

当日は、町内の子どもたちや家族、関係者などが合計106名集まり、感染予防対策をしっかりと取りながら、田植えを行った。

田んぼに入るのが初めての子どもたちばかりで、泥まみれになりながらも楽しんでいた。

今後は、経過観察、収穫、脱穀、餅つき大会等を計画しているとのこと。



こんなことを決めました！

第1回定例会

3月3日～15日

第1回（3月）定例会では、当初予算議案11件、補正予算議案10件、契約議案3件、条例議案8件、承認議案1件、その他3件の計36件の議案を審議し、それぞれ可決しました。令和3年度各会計予算議案11件については、議長を除く9名で構成する予算審査特別委員会（委員長 池田 啓一、副委員長 元井 直志）を設置し審査を行った結果、原案のとおり可決し、最終日に委員長から報告がなされました。主な議案の要旨は次のとおりです。

一般会計当初予算

●令和3年度一般会計歳入歳出予算総額は、85億7567万2千円で、前年度に対し2億2790万3千円、2.6%の減です。歳入は、自主財源が15億3512万3千円で、前年度に対し1億5412万3千円11.2%の増です。

●主な要因は、公共施設維持管理基金やふるさと応援寄付金からの繰入金等の増によるものです。歳出は、義務的経費が39億6036万円で前年度に対し1億1557万7千円、3.0%の増です。主な要因は、会計年度任用職員人件費や障害福祉補助費の増によるものです。

契約

●瀬戸内町汚泥再生処理センター（仮称）建設工事請負変更契約について

本事業は、（仮）奄美大島駐屯地等し尿処理施設設置助成事業に係るものであり、平成30年8月8日、議

案第60号で本会議において議決され、工事を進めています。主な変更内容は、国の緊急事態宣言を受け、工事中止を余儀なくされた事に伴い、影響を受けた3ヵ月分の経費を増額するものです。変更後の委託金額は、3498万5千円増の22億5978万5千円となり、本契約議案を可決しました。

契約

●2号第1号道路災害復旧工事（網野子工区）請負変更契約について

本事業は、町道網野子峠線の道路災害復旧工事に係るものであり、令和2年7月20日、議案第81号で本会議において議決され、（株）勇建設と1億180万4766円で契約し、工事を進めています。

●主な変更内容は、鉄筋挿入工本数52本の減によるもので、変更後の請負金額は445万4766円減の9735万円となり本契約議案を可決しました。

指定管理者の指定

●本議案は、公の施設の指定管理者を指定するため、地方自治法第244条の2第6項の規定により、「瀬戸内町すこやか福祉センター」内、テレワーク部（仮称）の管理を、BLUE School Design 株式会社指定し管理を行わせようとする議案について議会の議決を求めるものであり、原案のとおり可決しました。

老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画

●本議案は、高齢者に関する施策を総合的に推進していくため、本町における老人福祉計画と介護保険事業計画を策定するものです。主な内容は、第1号被保険者の介護保険料基準額が、第7期の月額7700円から800円を減額し、6900円となる設定に対し、原案のとおり可決しました。

令和3年 第1回瀬戸内町議会定例会（3月3日～3月15日）議案・議決結果

議案番号	件名	議決結果
1	令和2年度瀬戸内町船舶交通事業特別会計補正予算（第4号）の専決処分事項の承認	承認
2	令和2年度瀬戸内町一般会計補正予算（第10号）	原案可決
3	令和2年度瀬戸内町巡回診療施設特別会計補正予算（第5号）	原案可決
4	令和2年度瀬戸内町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決
5	令和2年度瀬戸内町介護保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決
6	令和2年度瀬戸内町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決
7	令和2年度瀬戸内町船舶交通事業特別会計補正予算（第5号）	原案可決
8	令和2年度瀬戸内町古仁屋港上屋事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
9	令和2年度瀬戸内町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
10	令和2年度瀬戸内町簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決
11	令和3年度瀬戸内町一般会計予算	原案可決
12	令和3年度瀬戸内町巡回診療施設特別会計予算	原案可決
13	令和3年度瀬戸内町国民健康保険特別会計予算	原案可決
14	令和3年度瀬戸内町介護保険特別会計予算	原案可決
15	令和3年度瀬戸内町後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決
16	令和3年度瀬戸内町屠畜場事業特別会計予算	原案可決
17	令和3年度瀬戸内町船舶交通事業特別会計予算	原案可決
18	令和3年度瀬戸内町古仁屋港上屋事業特別会計予算	原案可決
19	令和3年度瀬戸内町農業集落排水事業特別会計予算	原案可決
20	令和3年度瀬戸内町簡易水道事業特別会計予算	原案可決
21	令和3年度瀬戸内町水道事業会計予算	原案可決
22	旧船津保育所跡地の無償貸付契約の締結	可決
23	瀬戸内町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等の基準に関する条例の一部改正	原案可決
24	町営定期船の設置及び管理に関する条例の一部改正	原案可決
25	せとうち物産館の設置及び管理に関する条例の一部改正	原案可決
26	瀬戸内町長期継続契約に関する条例の制定	原案可決
27	瀬戸内町学校施設使用条例の一部改正	原案可決
28	令和2年度瀬戸内町一般会計補正予算（第11号）	原案可決
29	瀬戸内町汚泥再生処理センター（仮称）建設工事請負変更契約の締結	可決
30	2災第1号道路災害復旧工事（網野子工区）請負変更契約の締結	可決
31	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	原案可決
32	瀬戸内町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決
33	瀬戸内町介護保険条例の一部改正	原案可決
34	すこやか福祉センター内テレワーク部（仮称）における指定管理者の指定	原案可決
35	瀬戸内町障害者計画及び第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画	原案可決
36	瀬戸内町老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画	原案可決

令和3年度予算審査意見（8項目）

- 1 国立公園特別保護地区の油井岳でのノヤギは、生態系悪化が懸念されるため、早急に駆除の対応を図られたい。
- 2 ふるさと納税については、寄附金の減額の要因究明と更なる寄附金の増を目指し、体制の見直しや公募等を含め、あらゆる方策を講じられたい。
- 3 新型コロナウイルスワクチン接種については、町民への周知徹底等を含め、万全の体制確立に努められたい。
- 4 キビ酢村構想の推進については、綿密な計画を立て、各関係者及び機関へ事業内容の説明と協力依頼等を行い基本設計に反映させ事業の充実・拡大に努められたい。
- 5 加計呂麻ターミナルの基本計画策定については、町民の意見を反映させるように、官民で組織する検討委員会等を設置して鋭意取り組まれたい。
- 6 町内の事業者や生産者と連携を図り、地産地消できるよう町内の食材を給食等に利用できる創意工夫を図っていただきたい。
- 7 各種補助支援事業の執行に関しては、関係者等と十分に協議して行っていただきたい。
- 8 へき地診療所の運営については、これまで同様に入院患者が受け入れできるよう、現場の環境を整えるべく、早急に医師・看護師の確保に最大の努力をされたい。



一般質問

柳谷 昌臣 議員



新型コロナウイルス対策

柳谷 本町のワクチン接種体制について伺いたい。

町長 新型コロナウイルス対策で、本町のワクチン接種については、「新型コロナウイルスワクチン接種推進室」を設置し取り組んでいる。

柳谷 今後、町内で影響を受けている方々への支援について伺いたい。

町長 町内で影響を受けてい

る方々への支援については、

これまで2度にわたり本町単独で本年度5月に「瀬戸内町飲食・観光業等緊急支援金」12月に「瀬戸内町飲食業緊急支援金」を支給したが、今後においては現在鹿児島県が申請を受け付けている「鹿児島県事業継続緊急支援金給付事業」に該当した事業者に対し、新年度4月から一律10万円を支給、飲食店を対象とした「ささえ愛クーポン券」を全町民に支給する。また、国における各省庁のコロナ支援制度が実施されているので、町のホームページ、広報紙において制度の周知を図っている。

観光設備

柳谷 町内の観光施設（特にトイレ）の整備状況と今後の計画について伺いたい。

町長 町内観光施設の整備状

況については、平成29年度に佐知克トイレ・シャワー、令和元年度（令和2年度繰越）に芝トイレ・シャワーを整備し、平成29年度からログハウストイレ・シャワー等の塗装を年次的に実施している。

今後の計画については、令和3年度に清水トイレ・シャワーを整備し、その他の施設については、1月に実施した現地調査を基に高知山トイレ、白浜及び嘉徳トイレ・シャワー、スリ浜バースハウス等の整備を進めていきたいと考えている。

職員の資質向上に向けた人材育成

柳谷 職員の資質向上に向けた人材育成について、伺いたい。

町長 職員の資質向上に向けた人材育成については、公務員は「全体の奉仕者」という基本理念に基づきながら、

様々な課題を自ら解決し、住民サービスをより効果的に提供することが求められている。

そのためには職員の意識改革が重要であり、「瀬戸内町職員人材育成基本方針」に基づく「目指すべく職員像」を具現化するために人材育成に関する体系的な取り組みを行うことが必要である。瀬戸内町では、職員の能力を高める「職員研修」、人を育てる「職場環境整備」、職員のやる気を高め、その能力を最大限に発揮できる「人事管理」、これら3つの要素をリンクさせることで、計画的な人材育成に努めている。



永井 しずの 議員



瀬相ターミナルビル 役場支所

永井 12月の定例会において、私がこの件に関して一般質問させていただいた際、町長からの回答は、令和3年度より予定地の調査や設計を行う予定との事だったが、現時点でどこまで進んでいるのか伺いたい。

町長 加計呂麻島ターミナルビル施設計画については、令和3年度より施設建設予定地

の調査と施設の機能や規模を具体化するための基本設計に取り組む考えであり、調査及び基本計画にかかる費用の算定を行っている。また、国の補助事業の活用を検討し事業計画の策定を進めているところである。

町立久慈小中学校の利用

永井 12月の一般質問の際、今年4月以降に廃校になる「久慈小中学校」の利用について町長の回答は、久慈集落と新たな利用方法を検討していくとの事だったが現況を伺いたい。

町長 久慈小中学校の利用については、昨年久慈集落在住の方から体験、泊、食の複合施設としての利用計画の相談があり、企画課が協力及び助言を行っている。令和3年度

に全体計画を策定する予定。

「提言」

西方には多くの養殖場があるので、連携して地場産の食材を利用して頂きたい。



妊婦達への産前・産後の支援

永井 瀬戸内町には産婦人科が無い為、妊婦検診は車で1

時間かけて奄美市へ行かなければいけない状況だが、町はどのような支援を行っているのか伺いたい。

町長 平成28年12月1日より、瀬戸内町妊婦健康診査交通費助成事業として交通費と宿泊費の助成を行っている。また、へき地診療所において妊婦検診を県立病院や名瀬徳洲会病院などの協力を得て行っている。

「提言」
妊婦達はとても不安を抱えていると思うので悩みを聞いたり仲間が集っておしゃべりをするサロンの様な場所を設置して頂きたい。

中村 義隆 議員



加計呂麻・請・与路3島へのドローン活用事業

中村 実証実験など伺いたい。

町長 ドローン活用事業については、令和2年10月に本町と日本航空株式会社、日本エアコミュニケーションズ株式会社、三井住友海上火災保険株式会社、MS&ADインテリス社、MS&ADインテリス社と相互の連携を強化し地域課題の解決を目指すため、地域包括連携協定を締結し、この5社で「瀬戸内町エアモビリティ事業推進協議会」を設置し、実証実験に向けた機体の選別、運航上、航空法上の課題及び課題解決を協議している他、本町の観光協会、商工会、物流、観光関係者、加計呂麻島在住者から構成される「ドローンを活用した持続可能な地域づくり協議会」を設置し、地域課題の抽出及びそれに対するドローンの活用方法等を協議しているところである。

現在の予定では2022年度中の実証実験の実施を予定している。



行政手続きの簡素化

中村 マイナンバーの普及率や脱ハンコ等について伺いたい。

町長 マイナンバーの普及率については、令和3年2月1日現在、全国25・2%、鹿児島県23%、瀬戸内町23・4%となっている。
また、脱ハンコ等については、新型コロナウイルス感染症拡大防止及びデジタル時代を見据えたデジタルガバメント実現のため、書面主義、押印原則、対面主義からの決別が喫緊の課題とされており、各種様式の押印が見直されている。

るところである。
本町においても、行政手続きにおける住民の負担を軽減し、住民の利便性向上を図るため、国や先進地方公共団体の取組を参考に、更なる押印の見直しに取り組んでまいりたい。

校区外からの中学校部活動参加

中村 校区外からの中学校部活動参加について詳しく伺いたい。

教育長 部活動は、生徒の自発的な参加により行われるものであるが、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養に資するなど、教育的意義も大きい。そのため、学習指導要領においても、教諭が日常的に行う教育課程との関連や生徒指導が図られるよう留意することとされている。
また、スポーツ庁「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」においても、

「学校全体として運動部活動の指導・運営に係る体制を構築すること」となっていることから、生徒を管理する体制が整っていない状況では、校区外で生徒のみが他校の部活動に参加することは認められない。
なお、各学校において顧問が配置されており、それぞれの学校長が合同部活動を承認した場合は、合同で練習することはできることになっている。

古仁屋高校

古仁屋高校の入学状況について伺いたい。

中村 古仁屋高校の入試の出願者数は、2月16日現在33名だが、町内、町外からの出願者数を伺いたい。

町長 本町においては、地域みらい留学生として定数7名のところ入寮審査で7名を選考したが通知後に辞退1名、2次募集への応募がなく結果6名である。
出願者の内訳については、県教委が公表してないので合格発表後に町内及び町外の数は明確になるものと思われる。

1万人が設定されていない。その理由を伺いたい。

町長 長期振興計画を策定する際には、奄美大島人口ビジョンの人口推計を引用している。
「人口1万人復活」は選挙演説等で住民に分かりやすく説明するためのスローガンとして用いた言葉であり長期振興計画及びせとうち創生マニフェストに明記する必要性は感じていない。

長期振興計画と町長のマニフェストに掲げられた政策については整合性を図るよう努めているが、スローガン、キャッチフレーズ等については、その必要はないと考えている。

泰山 祐一 議員



人口1万の復活

泰山 令和元年に制作している長期振興計画やせとうち創生マニフェストに、人口目標

泰山 12月議会でも伺ったが、事業計画の数字は計画されていないのか。

奄美せとうち地域公社

農林課長 事業計画の数字はまだ出ていない。令和3年に基本計画を策定し、収支などいろいろな数字を出していきたいと考えている。

農林課長 面積が6反である。
泰山 土地の方は、これから準備されるという事で宜しいか。

泰山 前回は申し上げたが、この瀬戸内町が使用するお金・予算は町民の財布でもあり、そういった感覚であるのか、自分の財布から、もし出した時にこういった計画が進められるのかどうかを改めて伺いたい。

農林課長 土地の方は、鎮西の方はさとうきび、黒糖工場いろいろあるので、実久の方で遊休地を利用していききたいと考えている。

農林課長 将来に向けて加計呂麻の農業振興を図るうえで必要だと思い、設計を策定して進めていききたいと考えている。



世界自然遺産登録

泰山 先日町長が12月議会で1億5千万の売上目標を立てるといった話があった。実際にさとうきびに還元した時に何反ぐらいたのさとうきびを作らなければならぬのか見解を伺いたい。

泰山 加計呂麻島・請島・与路島の財源確保のために、観光客向けに来島税もしくは入島料金の制度を導入する意向はあるか。

町長 現在、来島税、入島料金制度の導入計画はないが、今後先進地の事例や広域的に考えられないかなど、奄美大島5市町村連携のもとに検討について提案していきたいと考えている。また、奄美市が実施している、世界自然遺産登録を推進する事業に活用できる「募金箱設置」についても調査・検討したいと考えている。

瀬戸内町公共施設総合管理計画

泰山 瀬戸内町が普通会計の施設を、現状の施設総量（延床面積）で更新したと仮定した場合、2015年から30年間にかかる更新費用はいくらになるのか。また、平均費用は年額いくらになるかを伺いたい。

町長 施設総量の更新費用は524億円で、平均費用は年

間17億5千万円となる。

泰山 2015年の策定時に30年かけて施設総量（延床面積）10%縮減するという目標を掲げているが、現在の清水総合体育館の施設総量（延床面積）と比較すると何個分の削減に相当するのか、また、2020年までの期間での縮減率を伺いたい。

町長 施設総量の10%削減を清水総合体育館の施設総量（延床面積）と比較すると4・3個分に相当する。また、2015年から2020年までは、約1050㎡増加していることから縮減率は100・85%となっている。

元井 各集落に空き家はあるが改修に耐えないか、長年不在の為に住める状況にはない。その対策はどうか？

空き家対策



町長 福山市立大学の空き家実態調査によれば、町全体で約60件が「活用困難」あるいは「危険家屋のため早急に対応が必要」となっている。その対策として危険空家解体の補助事業を広報し、危険空家の解体費に対して限度額木造50万円、非木造100万円の補助金を支給し、危険空き家問題の解決に取り組んでいく。

元井 直志 議員

元井 住宅の不足は、もはや町営住宅に頼るしかないが市街地中心ではなく分散できないものか。

町長 現在、町としては「瀬戸内町公営住宅等長寿命化計画」に基づき、国が助成する社会資本整備総合交付金等を使い、既存住宅ストックに対する外壁改修工事及び屋上防水工事等の個別改善事業や浄化槽の改善工事の計画修繕を優先的に行いながら、公営住宅の長寿命化を図っているところである。

展望台の整備

元井 展望台はあるが、目の前の木々や草が生えていて邪魔で展望できない。もっとキチンと整備出来ないか。

町長 本町の展望台は油井岳と高知山の2か所となっており、伐採管理人を配置し管理しているところである。

議員の指摘の展望台はおそらく油井岳の事ではないかと思うが、主管課が1月に実施した観光施設の現地調査時においても木々やススキ等が生えており眺望をさえぎっている状況を確認したところである。

管理人が伐採できる場所については、すでに対応しているが、油井岳については国立公園第2種特別地域内であり、かなり奥深く木々等の伐採も行う必要があることから環境省の現場確認と許可が必ずとなり、予算等もかかること

とから今後、検討して対応したいと考えている。



シルバー人材センターの活動

元井 シルバー人材センターの活動の現状はどうか。

町長 シルバー人材センターの活動の現状については、1月末現在、会員数59人で、合計117件1963万6095円を受託している。

主な内容としては、役場・古仁屋高校の寮・古仁屋小学

校・中学校の当直や、役場庁舎・海の駅などの清掃、また、草刈り・除草作業、ハウスクリーニング、庭の清掃・剪定作業などとなっている。これらの業務には、延べ377人の方が従事され、配分金として総額1905万705円を支出しているところである。

元井 町の依頼状況はどうか。

町長 シルバー人材センターへの町の依頼状況については、令和2年度より役場庁舎日直業務、役場庁舎宿直業務、役場庁舎清掃業務、古仁屋高校学生寮監業務、学校施設当直業務、図書館郷土館清掃業務、せとうち海の駅清掃業務の7業務について年間委託している。

また、各施設等において、除草、植え込み剪定及び清掃作業等についても随時委託している。

放課後子ども教室の充実

元井 現在、週2日とかで運営されている教室を、学校がある日は毎日できるようにできないものか。

教育長 現在、本町の「放課後子ども教室」は、「古仁屋子ども教室」が週5日、「阿木子ども教室」と「嘉鉄子ども教室」は週2日で開設しているところだが、先に実施したアンケートの結果を総合的に判断し、3教室とも当面は現状の日数で運営したいと考えている。

なお、「阿木名教室」と「嘉鉄教室」の2教室については、週5日開催の要望が多くあれば、出来る範囲での拡充を図ることは可能だと考えている。

福田 鶴代 議員



慮して欲しい。

福田 環境整備などの改善状況はどうか伺いたい。

福田 新年度の受け入れ人数は、妥当か伺いたい。

高丘保育所

町長 保育士配置基準に合ったクラス人数の割り振りをやっているが、現時点で、園児募集人数に対して保育士の数が不足しているのが現状である。引き続き会計年度任用職員の募集を継続していく。

福田 四月・五月は慣れない集団生活のなかで戸惑う子供が多くみられ大変な時期だが、現場がひっぱくしない体制で新年度が始められる様配

町長 通用門修繕、防災カー

テン修繕、給湯器と除湿機の買い替え、1階トイレの改修工事、火災通報装置の修繕、砂場周辺のフェンスの修繕、園庭の整地等を行った。

2クラスのエアコンが老朽化し、随時修理を行い使用しているが、エアコン取り替えも検討していきたいと考えている。

今後も、園児たちが安全に生活していけるよう施設内の安全点検を行い、修繕等の必要な個所を把握し、優先順位を決めて修理を行ってみたい。

附属幼稚園

福田 附属幼稚園も教室や園

庭が狭いと思う。両施設の建て替えが必要と思うが公立認定こども園としての建て替えを考えているか伺いたい。

町長 認定こども園の建設については、「認定こども園等建設に関するワーキング報告書」にて、アンケートの結果、保護者の利用希望施設として、認定こども園への希望が少ない数値となった事から、「子育て支援拠点施設」としての機能のあり方を考慮しながら、意見を集約していきたいと思っ

教育長 施設及び園庭については、文部科学省の設置基準を満たす中で運営している。老朽化も進んでいるが、年次的に修繕等を行いながら安全確保に努め、預かり保育等、時代のニーズを的確にとらえた教育の充実に努めているところである。

福田 園庭でボール遊び、砂

遊び、ブランコ遊びをしているのを見かける。園庭が広いと思いきり遊べると感じ、預かりも年々増えホールだけでは狭く感じた。

未就学児までは、遊びの学びが大事だと思う。



加計呂麻の集落水道

福田 簡易水道ではない集落について伺いたい。

町長 簡易水道になっていない集落は11集落ある。

福田 どうして簡易水道になっていないのかと思う。集落の戸数が少ないので集落で二分の一の工費を出すことが出来ず昔から使っている水

源地で我慢して使っているが、管理する人もいなくなり大変困っているとの事。ウターインターンの方が住みたくてもインフラがしっかりしていないので市街地で住む方がいるとの事。

フェリーの割引

福田 フェリーの割引について伺いたい。

町長 現在、車両割引が適用されるのは、回数券と往復割引のみであるが、今後関係機関と協議を行い、フェリーがけるまに適用できる割引制度を精査していきたい。

福田 車両割引により車での利用回数が増え高齢者や子ども達の病院通い、雨の日の買い物などとても助かると思う。古仁屋での駐車場問題や悪天候のフェリー欠航への不満解消にも少しはつながるのではないか。

コミュニティ担当職員

福田 瀬戸内町コミュニティ担当職員の取り組みについて、伺いたい。

町長 コミュニティ職員の取組については、主に集落からの要望や懸案事項について相談を受け、内容に応じて役場の関係課局や県へ取り次ぐ等の対応を行っている。

設定し、個人の職歴等を加味して決定している。

池田 瀬戸内町ならではの待遇改善・地位保障等を図り、若者が帰って来れる町を…

池田 啓一 議員



任用職員

池田 会計年度の委託事業・及び任用職員の人数、待遇は？

つき採用しており、令和3年2月1日現在、町長部局137名、教育委員会76名の計213名となっている。

なお、委託事業については、加計呂麻地区道路伐採業務委託員として、鎮西地区に2名、実久地区に2名の計4名が年間を通じて道路伐採作業に従事している。

会計年度任用職員の待遇については、国の非常勤職員に準じた年次有給休暇や特別休暇等を付与している。

町長 会計年度任用職員については、委託ではなく一般事務補助、保育士、看護師等の職種毎に地方公務員法に基

から示された基準及び近隣市町村同職種報酬との権衡等を考慮した上で職種毎の上限を

海の駅

池田 今後の売店に対する考えと喫煙所対策は？

町長 海の駅内の売店については、コロナ禍の終息、世界自然遺産登録等で、観光客等が増えてくることを想定すると必要だと考えるが、海の駅から見える範囲内に、スーパーやコンビニ等もある為、今後検討していきたい。

喫煙所対策については、受動喫煙防止のため、駐車場側の外階段下に2か所、吸殻入れを設置している。

池田 売店は、スーパーやコンビニと違い町の特産品の販売、宣伝の大事な場である。

「奄美・せとうち地域公社」で運営できないか検討して欲しい。階段下の喫煙場所は、止めて欲しい。



古仁屋高校

池田 現状の課題と対策、保護者との連携は？

町長 課題としては、地元中学校からの入学率が低いこと。

その対策として、各中学校への高校PRをさらに強化していくこと、中学校と高校や中学生と留学生のつながりを積極的に行わなければならない

いと考えている。

また古仁屋高校ならではの海洋系クラブ活動の創設、自然体験を取り入れた独特な授業の実施等で他校との差別化を図り独自の魅力を高めていくことが必要だと思っている。

地元高校生保護者については、瀬戸内町中高連絡協議会等において学校、PTA、行政間の意見交換等で連携を図っている。

池田 保護者の困っている事を町側で出来る事が、まだあると思うので直接の話し合いを行って欲しい。



鹿児島県町村議会議長会表彰

2月16日、鹿児島県町村議会定期総会において、議員在職25年以上となる方に自治功労者表彰が送られました。本町からは、安和弘議員が多年にわたる地域振興発展に寄与された功績により、表彰されました。

それを受け、3月3日、臨時議会開会前に、瀬戸内町議会議員控室において表彰された安和弘議員（77）へ伝達式をおこないました。

安議員は、議会議員として25年もの長きにわたり貢献してきたことを評価されたことに対して、「支えてくれた人のお陰でここまでやってこれたんだと、家族はもちろんですけど同僚の皆様方に感謝申し上げたい。今は大変な世の中になっているが、健康には気を付けてこれからもこのまちの発展のために少しでも力になりたいと思います」と話しました。本町最年長議員である安議員の今後益々のご活躍と全国町村議長会表彰を期待しております。おめでとうございます。



議長から表彰状を受け取る安議員



安和弘 議員

編集後記

人生は短いという人もいれば長いという人もいます。

本当の所はどうだろうか。これは誰にも分らないのである。それぞれの思うところであって神も知らない。楽しい人生であれば短いと感じるだろうし、苦しき事が多ければ長いと思うものだろう。こればかりは他人の及ばぬ事である。できれば人生は短いと感じて生きてみたいものだ。と私は思っている。

この一瞬の人生をどのように生きるか？。情報の断食という言葉が最近知った。

成程、現代は情報がありふれる程あふれていて情報だらけである。目に入る情報、耳に入る情報、とにかくあふれていてこれらが日常の世界に常にある。これ

を断つということは中々できないものである。

まる一日、あるいはまる一週間くらい情報のない世界に行ってみたらどうだろう。その後に来るものは？新しい意欲、知識欲がふつつつ湧いてきてリフレッシュできるかも知れない。

そういう機会をぜひもってみたいものだと思う今日この頃である。

議会報編集委員会
委員長 元井 直志
副委員長 永井 しずの
委員 福田 鶴代
委員 柳谷 昌臣
委員 池田 啓一
委員 向野 忍
委員長 順一